

第20号) *** 米国国立医学図書館分類法 (NLMC) について***

本学図書館の図書分類は、本館は米国国立医学図書館分類法 (NLMC) と日本十進分類法 (NDC) を併用し、分館は NDC のみを使用しております。今号では本館で使用している NLMC について取り上げます。

NLMC は、既に存在していた米国議会図書館分類法 (LCC) が基となっています。1944 年に米国陸軍医学図書館の調査報告書で、医学とその隣接した分野を網羅した新しい枠組みに沿った分類を作ること、LCC で永久的に削除された「QS-QZ,W-WZ」の部分を使用すること、さらにこの枠組みの下に LCC に類似した分類と注釈を融合させることが提唱され、1951 年米国陸軍医学図書館分類法として完成しました。

NLMC は、現在の第 5 版が 1994 年 (日本語版は 1996 年) に刊行されました。第 5 版では、最新の MeSH 用語と統合したり、新しい概念に応じた分類番号が分類構成を維持できるようにガイドラインによって解説をつけたりといった工夫がされています。また、項目では「救急医療(WB105)」は病院環境を越えた救急医療を分類するために「救急医療(一般)WB101」を追加するなど、めまぐるしく変化する医療現場に対応すべく改訂されていることも特徴の一つになっています。

利用者の皆さんは全ての分類を覚える必要はありませんが、自分の研究分野や、関連した分野がどのあたりにあるか記憶しておくで短時間で目的の資料に辿りつくことが出来て便利だと思います。直接『NLMC』をご覧になりたい方はカウンターまで声をかけてください。また分類の詳細は Web 上でもご覧頂けます。

(<http://www.nlm.nih.gov/class/OutlineofNLMClassificationSchedule.html>)

*** 図書館トリビア ***

夏目漱石の「我輩は猫である」に登場する医師 甘木先生は、医学中央雑誌の創始者である尼子四郎がモデルと言われています。漱石が英国留学から帰国後 3 年半ほど同じ町内に住んでおり、親交があったとのこと。

詳細は「医学図書館」53(1):60-64, 2006 をご覧ください。

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 unyo@lib.iwate-med.ac.jp まで。